

# と う ぐ み



## 1年生を迎える会

～1年生のみなさん、ようこそ高島小へ！～

4月17日（金）、朝の行事の時間に、児童会本部が企画・運営する「1年生を迎える会」が開催されました。23名の1年生は、6年生と手をつなぎ、5年生による花のアーチをくぐって、笑顔いっぱい体育館に入場しました。会では、児童会からの歓迎の挨拶や校歌の合唱に加え、6年生から手作りの「ペンダント」と「びゅんびゅんごま」がプレゼントされました。1年生全員による元気なお礼の挨拶には、入学から間もないとは思えないほど堂々とした姿が見られました。会終了後、6年生は1年生の教室を訪れ、こまの回し方を丁寧に教え、一緒に遊ぶ姿がありました。1年生が本校での学校生活を楽しく送れるようにという、上級生たちの温かい思いがこもった、素敵な会となりました。

歓迎のあいさつでは、児童会の佐藤さんが「高島小で気持ちよく過ごすための合言葉」を教えてくださいました。

### ①今日もなかよし、明日もなかよし

友達と言い合いになっても、よく話し合って協力して仲直りしよう！

### ②チャレンジは成長への一歩

自分から進んでチャレンジすれば、楽しいことが増え、学校生活がもっと楽しくなる！

### ③最後まで全力でやりとげよう

苦手なことや怖いことも自分なりに最後まで全力でがんばればたくさん成長できる！

きっとそうすることで、これまでも上級生が笑顔で過ごせたり、充実した学校生活を送れたりしたのだろうと思います。私達も1年生が高島小でたくさん出会いの中で成長をすることを願っています。



## 5月の行事予定

1日	金	保護者面談④ 2、5年耳鼻科検診 1～5年4時間、6年5時間
2日	土	
3日	日	憲法記念日
4日	月	みどりの日
5日	火	こどもの日
6日	水	振替休日
7日	木	保護者面談⑤ 1～5年4時間、6年5時間
8日	金	保護者面談⑥ 1～5年4時間、6年5時間
9日	土	
10日	日	
11日	月	委員会
12日	火	尿検査①、清潔検査
13日	水	尿検査① 3、5、6年歯科検診 はくちょう号返却
14日	木	2、5年 NINO テスト、SC
15日	金	1年交通安全教室 3年自転車教室 はくちょう号借
16日	土	
17日	日	
18日	月	クラブ、4～6年内科検診
19日	火	1～3年内科検診
20日	水	縦割り活動（結団式）
21日	木	前期計画訪問 全学年下校 13：20
22日	金	全学年眼科検診 5年プール清掃
23日	土	
24日	日	
25日	月	クラブ
26日	火	合同引き渡し訓練
27日	水	1、2、4年歯科検診 3年校外学習（昆虫の森） 6年プール清掃
28日	木	4～6年移動音楽教室
29日	金	プール清掃予備日
30日	土	
31日	日	



# 高島小のエージェンシーを発揮します ✨

## 委員会紹介集会



4月22日（水）朝行事にて、各委員長から委員会紹介が行われました。

すでに委員会の仕事は始まっていて、どの委員会も今までの先輩達の働きぶりに負けじと高島小のよりよい学校生活のためにがんばっています。中でも、体育委員会は「みんなが協力して仲良く遊べる学校にしていくために」、保健委員会は「みんなが思いやりを持ち、健康で元気に過ごせるように」、放送委員会は「高島小が明るくなる放送を」と目標に向かってがんばろうという決意を述べてくれました。どんな学校生活になるか、とても楽しみです。



## 1・2年生生活科たんけん



4月21日（火）1，2校時に、1，2年生合同で学校近くのふるさと公園へ生活科たんけんに行ってきました。まずは、1，2年生でペアを組み、お互いに名前カードを手渡ししながら自己紹介をしました。そして、校庭で手をつないで学校を出発！2年生はペアの1年生と一緒に春探しをしました。タンポポが咲き乱れるふるさと公園では、花やちょう、虫などを見つけた子どもたちが思い思いに観察し、生活科カードに自分が見つけた春を描いていました。

こうして子どもたちは、新しい学習や生活の仕方を少しずつ自分のものにしていきます。まさに「まねぶ（真似る）」ことは「まなぶ（学ぶ）」ことのはじまりです。子どもたちにとって大切なのは、失敗を恐れずに挑戦する心です。まねてみることで新しい世界を知り、やってみて失敗することで、また新しい工夫が生まれます。子どもたちがのびのびと、失敗を恐れずに挑戦できるよう、私たち大人も温かく見守ってきたいものです。

また、学校では人との関わりの中で、「自分の気持ちを伝える力」「相手の気持ちを考える力」、そして「協力して何かを成し遂げる力」を育てています。一人ではできない経験を積み重ねることで、子どもたちは社会の中で生きていく力を身に付けていきます。ご家庭でも、お子様の小さな挑戦と一緒に喜び、温かい言葉をかけてあげてください。子どもたちはその一言で元気を取り戻し、また挑戦する勇気をもつはずで

子どもたちそれぞれのエージェンシーが発揮できるような環境を私たち大人が連携してつくっていかれたらと思います。今後ともご協力をお願いいたします。

